

2025年度

1級管工事 施工管理技士

一次コース

一次直前コース

あなたの合格を
全力でサポートします！





TOP INTERVIEW

株式会社建築資料研究社は、
1969年に建設関連の出版事業を創業して以来、
多くの皆さまにご愛顧いただき、2024年8月に創立55周年を迎えました。
創業者／馬場瑛八郎は、日本大学 工学部 建築学科を卒業後、
設計事務所に勤めながらも苦勞して一級建築士を取得し、
『これから建築士取得を目指す方々に同じ苦勞をさせたくない』その思いから
資格受験予備校「日本建設実務学院」が設立されました。(現在の日建学院)
私も大学の建築学科を卒業後、建設会社で現場管理の仕事をするかたわら
日建学院に通い一級建築士、一級建築施工管理技士を取得しました。
仕事を続けながらの受験勉強はけっして楽なことではありません。
仕事と勉強の両立はつらいことも多く、学習の継続は大変です。
しかし、それを乗り越え合格できる環境が日建学院にはあります。

HISTORY

- 2004年 実施協力機関として、「監理技術者テレビ講習」を開講
- 2002年 Webオンライン学習システム「ニッケンbbスクール」スタート
- 1995年 (社)全国建設業協会と提携し(株)建設産業振興センター設立に参加
- 1990年 インテリア雑誌「コンフォルト」創刊
- 1989年 日建学院100校目開校
- 1986年 「1級/2級土木・造園・管工事、測量士補講座」開講
- 1985年 「1級/2級建築施工管理技士講座」開講
- 1983年 シリーズ書籍「建築設計資料」創刊
- 1982年 建築専門学校「東京日建工科専門学校」開校
- 1980年 日建学院60校目開校
- 1979年 「日建新聞」創刊
- 1978年 「土地家屋調査士講座」開講
「宅地建物取引主任者(現取引士)」開講
- 1977年 日建学院 映像講座制作の為、本社内にスタジオ・編集室設置
基本建築基準法関係法令集(オレンジ本)創刊
- 1976年 日建学院開設 東京校(1・2級建築士学科・設計コース)
- 1975年 雑誌「住宅建築」創刊
- 1973年 カセットによる建築士養成講座発売
- 1972年 コンピューターによる建築構造計算システムを開発
雑誌「庭」・「積算ポケット手帳」を創刊
- 1970年 原図資料集発売
- 1969年 株式会社建築資料研究社創立

日建学院で学び合格できた喜びを一人でも多くの方々に経験していただきたい。

この業界のトップランナーとして駆け続けたこれまでとともに、

創業者の想いを受け継ぎ、これからも社会に貢献できる企業であり続けるため、

頑張る人々を全力でサポートし続けます。



代表取締役 馬場 栄一

1992年 3月 早稲田大学 理工学部 建築学科 卒業

1992年 4月 大成建設株式会社東京支店 入社
(現場管理)東京:恵比寿ガーデンプレイス建築工事ほか
大阪:泉大津ポートタワー建築工事ほか

*在職中に一級建築士/一級建築施工管理技士 取得(日建学院 通学)

2000年 1月 株式会社建築資料研究社 入社

2000年 4月 住宅事業本部 本部長

2002年 4月 学院本部 本部長

2007年 5月 営業本部 取締役

2007年 7月 代表取締役社長 就任
現在に至る



日建学院の母体である建築資料研究社は、建設業界向けの資料集や書籍、専門誌などを50年以上発行している出版社。建設業に携わる事業所には、必ずそれらの市販書が置かれているはず。

2024年 創立55周年

2016年 日建学院開校 40周年

2014年 8月に創立45周年となる

2012年 スマートフォン・タブレットでも講義視聴が可能となる配信システムを構築

2011年 個別講座を扱う日建学院公認スクールを全国に展開
求職者支援訓練、都道府県委託訓練を全国で展開

2010年 厚生労働省雇用対策緊急人材育成支援事業による「基金訓練」建築・不動産・パソコン・簿記養成講座を開始

2009年 建築士や土木講座を扱う日建学院認定校を展開

(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPS)認定講習を開始
2008年 日建学院教室内「個別ブース」学習スタイルスタート

2006年 国土交通大臣の登録をうけた実施機関として「宅建実務講習」を開講
1・2級建築士、宅建 個別指導システムスタート

2005年 登録講習機関として許可を受け「宅建登録講習」を開講

なぜ日建学院は「映像学習」なのか？

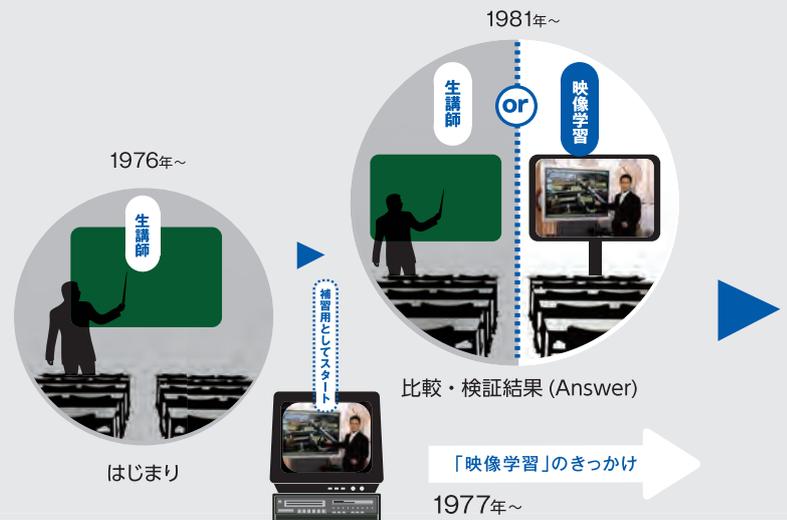
一般的な講義は講師が教室で行う生講師形式。日建学院も、スタートは生講師による講義からでした。

より良い学習方法を模索する中で「映像学習」という選択肢が生まれ、従来の「生講師での講義」と比較した結果が、現在に結び付いています。

よそ
他とは違う!!

クオリティと 学習効果の高い 日建学院の「映像講義」

一般的な映像講義とは、教室の後ろから定点撮影した映像を編集したもの。日建学院の高合格率を支える映像は、最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、完全オリジナルの撮影と編集を行っています。講義時間の数倍時間をかけ、CGやアニメーション等も盛り込み、分かりやすさを追求。頭と心に残る学習効果の高い映像講義です。



1. 全員合格への熱い思いから生まれた、補講VTR（映像学習）。

「全員合格へ」の思いが形になった「映像学習」は、合格率でも実績を伸ばしていきます。やがて全国展開する中で、講師の指導レベル差が合格率に影響を与えることが判明。日建学院では講師のレベル差を解消し、安定した高い合格率を実現するために、次第に「映像学習」の講義スタイルに切り替える教室が増えていきます。

STEP.1 会議



合格への近道は、クオリティを追求するところから始まる。

最新の試験情報や業界動向を徹底的にチェックし、試験に必要な知識をわかりやすく、覚えやすく盛り込む方法について、講師や教材制作者、試験分析官など、各分野のプロが意見を出し合い、緻密に議論します。議論されこだわりぬいた内容が映像学習を支えています。

STEP.2 撮影



カリスマ講師が贈る
最高の映像講義。

各分野のカリスマ講師が、自らが得意とする分野の講義を担当します。内容だけでなく、映像としての質にもこだわり、実際の講義の数倍もの時間をかけて撮影されます。映像講義でありがちな、単に講義を録画して他の場所で流すというのではなく、各講師が最高のパフォーマンスを提供することで受講生の学習を支えます。

Answer

生講師の受講生と比較すると、「映像学習」の受講生は

合格率10%アップ! の実績結果

日建学院の合格実績を支えるのは、「映像学習」の力。

講師の指導力の差を生まず、知識の定着に必要なくり返しを得意とする「映像学習」の講義は、時代に合わせてバージョンアップしながら、より効果的な学習ができるツールへと進化し続けています。

1989年～



合格にこだわる選択「映像学習」の講義スタイルへ

1998年～



クオリティを追求し続ける

2. 「つまずきやすさ」が「わかりやすさ」へと変わる。

映像学習は文章だけでは理解しにくい内容を、実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど、最適な表現方法で映像化することで、よりわかりやすく解説します。質問の多い箇所やテストで正答率の低い箇所は、「つまずきやすさ」を「わかりやすさ」に変える表現を追求し、毎年進化を遂げています。この工夫により、日建学院の映像講義は、「よくわかる」「疑問が残らない」と好評を得ています。

3. 脳科学が証明する、映像学習の驚異的な効果。

人間の脳は、日々膨大な情報を処理しています。この情報は脳の海馬で選択され、選ばれた情報だけが脳に送られ記憶として定着します。脳科学の研究によれば、映像情報は文字や聴覚情報よりも海馬の記憶に残りやすいとされています。そのため、試験の本番中に「講義で見た映像がよみがえった」という声を受講生から多く寄せられています。

STEP.3
編集



心に印象に残る映像を、
CGやアニメで彩る。

講師の解説に加えて、現場の映像やイラスト、CG、アニメーションなどを積極的に活用し、よりわかりやすい映像に仕上げます。最新の機器を完備した自社のスタジオと編集室で一貫して制作するため、こだわりの編集が可能。また、最新情報の追加なども柔軟に対応し、常に最高の映像を目指します。

STEP.4
完成



さらに!!

アドバイザー講師が
いるから安心!!



映像講義後も、
質問に答える講師がサポート!

映像講義への不安を解消するために、映像講義後もサポートを提供しています。映像が流れるだけで終わるのではなく、講義の際に常駐する講師があなたの疑問に即座に答え、学習の進捗をサポートします。わからないことや気になることがあれば、その場で解決して、安心して学習を進めることができます。

科学に基づく 日建式学習システム

必死に頑張ることは、もちろん大切。その頑張りを確実に成果に結びつけるためのシステムも、同じくらい重要です。

脳の仕組みにこだわって、スムーズに学び、しっかり記憶する。

自然な流れでくり返される学習システムで理解を促し、知識を定着させます。

脳は覚えるより、忘れるほうが得意!?

- 生きていくために必要な情報
- 合格するために必要な情報
- その他の情報

様々な情報

情報は目や耳などから
送り込まれる

情報を 記憶する

海馬で選択された情報を
大脳で保管する

情報を 選択する

海馬では生きるために
必要な情報とその他の
情報をふるい分ける

情報を 忘れる

海馬でふるい落とされた
その他の情報は
消去される

●脳における記憶の分業システム

情報	脳には膨大な 情報が入ってくる	海馬	情報を取捨選択して、 大脳に送る	大脳	海馬から送られた 情報を保管する
----	--------------------	----	---------------------	----	---------------------

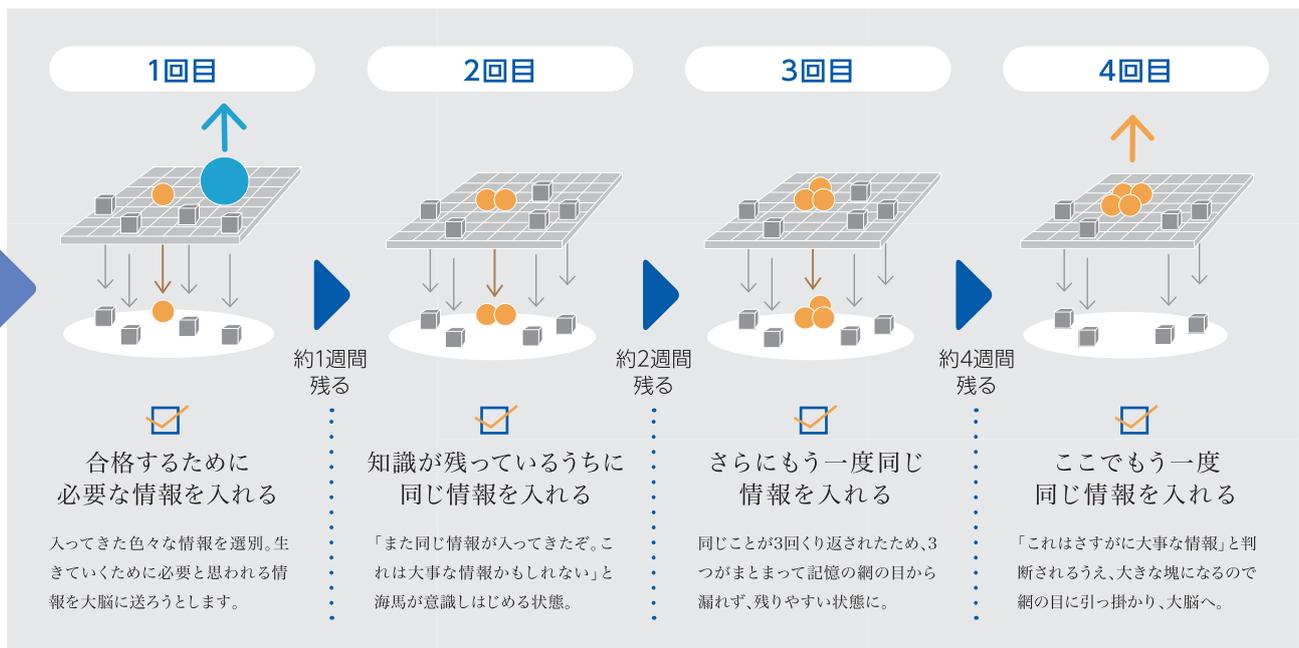
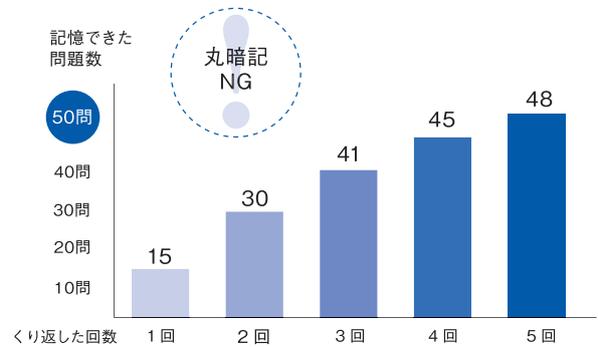
脳の仕組みを上手に利用している人が「頭の良い人」だ！

4回くり返し学習することがポイント！

くり返しと記憶の関係

(50問の問題をくり返し学習した場合)

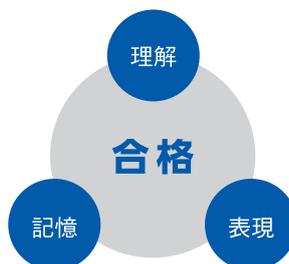
一度で覚えられないのは当たり前。「記憶力が悪い」わけではありません。記憶は、くり返し刷り込むことで定着します。くり返すことによって、誰でも覚えられることは増えていきます。



日建学院式 週間学習サイクル

1日2時間 自宅学習の習慣化！

1週間単位で確実に実行することが、合格の輪を大きくする。





1級管工事施工管理技士とは？

管工事の現場で最も必要とされる、知識と管理能力を持つ人材としての証

1級管工事施工管理技士は、各家庭やビル等に新鮮な水やガスを供給する各種工事を安全・円滑に行うために、施工計画の作成や現場での技術指導、資材等の品質管理、そして各種管工事の監理技術者・主任技術者としての業務を行います。

資格取得の
メリット

メリット
1

管工事の現場では欠かせない資格

この資格を取得することで、個人として顧客への信頼を高めるだけでなく、会社内においても有資格者の人数が大きな影響力を持つことになります。

メリット
2

浄化槽設備士の資格が取得できる

本試験に合格すると、浄化槽設備士講習の受講資格が生じ、講習を修了することにより浄化槽設備士の資格を取得することができます。

メリット
3

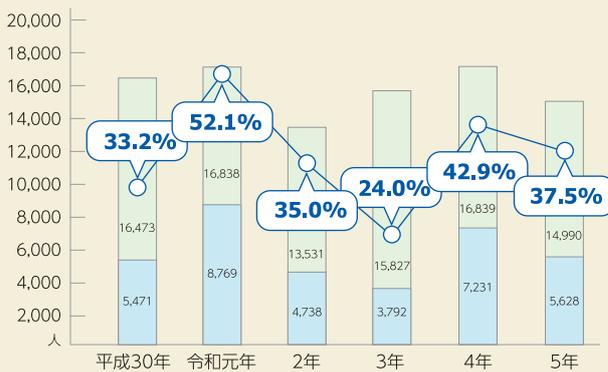
給水装置工事主任技術者試験が一部免除に

管工事施工管理技士資格の合格者は、給水装置工事主任技術者試験のうち、「給水装置の概要」及び「給水装置施工管理法」(学科試験2)が免除されます。

check!

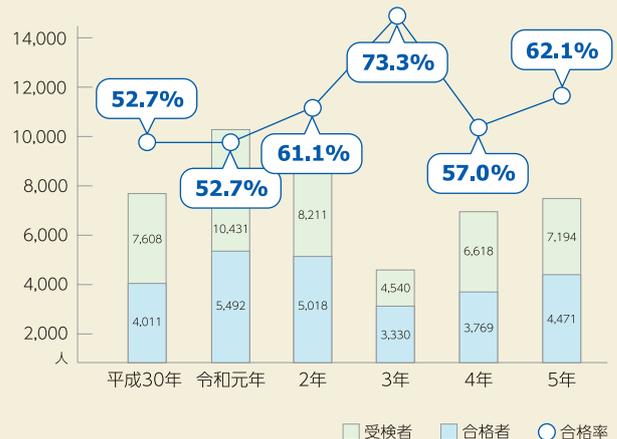
1級管工事施工管理技士「一次(学科)」

受検者数・合格者数・合格率推移



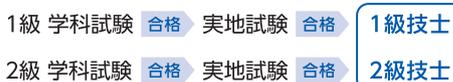
1級管工事施工管理技士「二次(実地)」

受検者数・合格者数・合格率推移



技術検定制度の見直し (2021年4月1日施行)

【改正前】



【改正後】



第一次検定

施工技術のうち基礎となる知識及び能力を有するかどうかを判定

第二次検定

施工技術のうち実務経験に基づいた技術上の管理及び指導監督に係る知識及び能力を有するかどうかを判定

自分の仕事の幅を広げたいと受けた試験。

合格してから任される仕事が増えただけでなく、

自信にもつながった。

Tomonari Inoue
井上 大徳さん

勤務先の業種 冷媒配管工事

取得資格 1級管工事施工管理技士



Q1 学習方法について

基本的には復習と予習をくり返し行いました。不明瞭な部分とはとにかく無くしていくようにして、あとはひたすら過去問を何度も解いていました。繁忙期で予習復習ができずに講義を受けたこともありましたが、やはり頭に入りにくかったので、毎日の予習復習の重要性を感じ反復練習を怠らないように努力しました。

Q2 なぜ日建学院を選んだか？

独学では難しいと社長から日建学院を薦められ、仕事面でも受講する時間を確保してもらえるとのことだったので選びました。日建学院のテキストはわかりやすく覚えたい所や知りたい所をすぐに確認することができ、映像講義もイメージしやすいと感じました。宿題の存在も大きく、週ごとに目標ができ、机に向かう良いきっかけにもなりました。

Q3 試験に合格して変わったことは？

合格してから任せられる仕事が増えました。また、試験勉強を通してより安全面への意識や責任感が増したと思います。勉強した時間の分だけ知識が身につき、これまでよりも自分の仕事に自信を持てるようになりました。



一次

コースの特長

分析を尽くしたカリキュラムで
合格知識の定着を

基本自宅学習で基礎理解力を身に付け、基礎講義→合格講座→直前講座と、技術者必携の難関国家資格に合格するために必要なカリキュラムがフルスペックで揃った一次コース。

直前講座だけを行う一次直前コースは、本試験前の実力最終チェックおよび補強に役立ちます。

■ 一次コース

受講形態: 通学

学習期間: 受講開始から
約3ヵ月間

■ 一次Webコース

受講形態: Web

配信期間: 5月上旬から
本試験当日まで(9月上旬)

■ 一次直前コース

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、公認スクール

学習期間: 受講開始から
約1ヵ月間

■ 一次直前Webコース

受講形態: Web

配信期間: 7月下旬から
本試験当日まで(9月上旬)

📅 コースカリキュラム

5月上旬

入学・面接

【自宅学習用
教材セット配付】

面接・ 診断テスト

簡単な面接・診断テストで基礎レベルを判定します。

基本 自宅学習

[全5回]

基礎講義

[全5回]

- 一般基礎 (1回)
- 空気調和設備 (1回)
- 給排水・衛生設備 (1回)
- 電気・建築設備 (1回)
- 施工管理・関連法規 (1回)



受講に必要な動作環境

Web講座は、規定の接続環境・動作環境を満たしていなければ受講することができません。

受講を予定されている各端末で「無料体験版」のテスト・動画などが正常に動作されるかご確認ください。

日建学院ホームページより、受講生専用⇒無料体験版・動作環境でご確認いただけます。

<https://www.ksknet.co.jp/nikken/guidance/check2/>



学習形態



通学型学習



Web



教育訓練給付金



人材開発支援助成金



教材配付:5月上旬より予定

※校により教材の配付方法は異なります。

受講料:280,000円(税込308,000円)



教材配付:5月上旬より予定

※校により教材の配付方法は異なります。

受講料:280,000円(税込308,000円)



教材配付:7月下旬より予定

受講料:100,000円(税込110,000円)



教材配付:7月下旬より予定

受講料:100,000円(税込110,000円)

6月

7月

8月

9月

合格講座
[全16回]

- 一般基礎(3回)
- 空調調和設備(2回)
- 給排水・衛生設備(3回)
- 電気・建築(1回)
- 機器・材料(1回)
- 契約・施工管理(2回)
- 工事施工(2回)
- 法規(2回)

直前講座
[全8回]

- 総仕上げ講義(4回)
- 模擬試験(2回)
- 直前講義(2回)

第一次
検定
本試験

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

教育訓練給付金

働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額(上限あり)をハローワーク(公共職業安定所)から支給します。

※教育訓練給付金をご利用の場合は、利用ガイドをご確認ください。

人材開発支援助成金 対象講座

中小建設事業主が雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた場合、経費・賃金の一部を助成。(要件を満たす必要があります。)

【お問い合わせ】最寄りの都道府県労働局又はハローワークへ

※ご注意

令和7年4月1日以後に本助成金制度が改正された場合には、その改正内容に準じますことをご承知ください。

一次

■ 一次コース ■ 一次Webコース

回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題	
基礎講義	◇	特別研修会	(30分)	-	-
	1	一般基礎	90分	-	-
	2	空気調和設備	90分	-	-
	3	給排水・衛生設備	90分	-	-
	4	電気・建築設備	90分	-	-
	5	施工管理・関連法規	90分	-	-
合格講座	◇	オリエンテーション	(60分)	-	-
	1	一般基礎①	105分	1回	1・2回
	2	一般基礎②	105分	2回	
	3	一般基礎③	105分	3回	3・4回
	4	空気調和設備①	105分	4回	
	5	空気調和設備②	105分	5回	5・6回
	6	給排水・衛生設備①	105分	6回	
	7	給排水・衛生設備②	105分	7回	7・8回
	8	給排水・衛生設備③	105分	8回	
	9	電気・建築	105分	9回	9・10回
	10	機器・材料	105分	10回	
	11	契約・施工管理①	105分	11回	11・12回
	12	施工管理②	105分	12回	
	13	工事施工①	105分	13回	13・14回
	14	工事施工②	105分	14回	
	15	法規①	105分	15回	15・16回
16	法規②	105分	16回		
直前講座	1	総仕上げ講義①	105分	1回	1・2回
	2	総仕上げ講義②	105分	2回	
	3	総仕上げ講義③	105分	3回	3・4回
	4	総仕上げ講義④	105分	4回	
	5	模擬試験 問題A	150分	(模擬)	-
	6	模擬試験 問題B	120分	(模擬)	-
	7	直前講義①	105分	-	-
	8	直前講義②	105分	-	-
◆	修了試験 ※教育訓練給付金をご利用の方のみ	-	(修了)	-	
本試験	1級管工事施工管理技士 第一次検定本試験日				

5月

6月

7月

8月

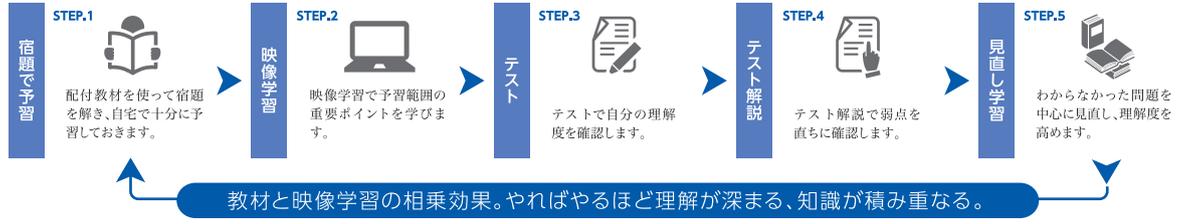
9月

■ 一次直前コース ■ 一次直前Webコース

回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題	
直前講座	1	総仕上げ講義①	105分	1回	1・2回
	2	総仕上げ講義②	105分	2回	
	3	総仕上げ講義③	105分	3回	3・4回
	4	総仕上げ講義④	105分	4回	
	5	模擬試験 問題A	150分	(模擬)	-
	6	模擬試験 問題B	120分	(模擬)	-
	7	直前講義①	105分	-	-
	8	直前講義②	105分	-	-
-	-	-	-	-	
本試験	1級管工事施工管理技士 第一次検定本試験日				

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

相乗効果を最大限に引き出す学習サイクル



自宅学習用教材セット

自宅学習用テキストには基本的なポイントがまとまっています。各回の最後にある「チャレンジ問題」は必ず実施してください。基本問題集は、受験に必要な基本ポイントをまとめた問題集。管工事施工管理用語集では、試験によく出る重要用語をイラスト付きで平易に解説しています。受験知識の土台作り役に立っててください。

- 自宅学習用テキスト
- 基本問題集
- 用語集



宿題

合格講座・直前講座において受講前に行う予習用の教材。講義のポイントを事前にインプットするための課題ですので、宿題は受講前に必ず学習してください。



テスト

宿題や講義で学んだポイントの定着度合いを測るアウトプット教材。テストの結果は、自己管理ノートに記録して進捗具合をチェックし、学習度合いの客観視や弱点把握などに役立ちます。

出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい

各章の始めに本試験の出題傾向と学習のポイントを明記

インデックスにより講義範囲が一目でわかるので、予習で宿題を行う際や復習でテストの見直しをする時に便利

図や写真が多く理解しやすい

「解説解説」と「関連アドバイス」が丁寧で見やすい

用語 重要な用語には、解説と表や図解を掲載

補足 理解を深めるために必要な事項を表示

参考 学習の手がかりを掲載

ORIGINAL TEXT 一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目的に過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



ORIGINAL TEXT 一次対策問題集

問題集は、問題と解答解説で一頁の構成になっているため、頁をめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにまとめてありますので、弱点部分の補強にも大変便利な構成になっています。



※教材写真は過年度のものです。

万全の サポートシステム

合格までの道のりを支えきる。そのために、学習面のサポートはもちろんのこと、
厳しい受験期間に遭遇するさまざまな迷いや不安にも、共に立ち向かいます。
二人三脚で歩む担当パートナー。急な出張や転勤にも即対応する日建学院のネットワーク。
学習を続けやすい、効果が出せるサポート体制です。

万が一の欠席も心配なし、 忙しい社会人をフォロー

欠席フォローシステム

仕事などの都合や諸事情で欠席しても、規定の回数までは欠席分の講義を個別学習ルームで受講可能(予約制)。学習の遅れを取り戻すことができます。忙しい社会生活の中で合格を目指す受講生を、万全の体制で支えます。



個別ブースで あなただけの学習環境を

補習や自習にも使える個別ブース

日建学院の個別ブースは全席パソコン設置です。周囲を気にせず自分のペースで補習や自習ができます。(予約制)



何でも相談、 合格まで二人三脚で 親身にサポート

ライセンスアドバイザー

受講生一人ひとりに担当者がつき、入学から本試験まで、さまざまなサポートをします。出欠や成績の管理、学習面のアドバイスからメンタル面の悩みまで親身に対応。まさに二人三脚で、合格までの道のりを共に歩みます。



全国一斉、 同一講義だから、 出張や転勤時も安心

聴講サポート

出張などで、いつもの通学校で受講できない場合も安心です。事前に予約すれば、全国の主要校の教室で聴講することが可能。全国どこの教室でも同一講義を行っているので、学習進度が異なる心配もありません。



疑問や不明点は メールでその都度解決

質問対応システム

講義や自宅学習、テキストやテストなどで疑問や不明点を感じたら、質問対応システムを活用。専門メール対応なので気軽に質問できます。わからない点は放置せず、早めに解決することが合格への近道です。



